

『ひとつずつ
いいね!で確認
火の用心』



あなたの勇気と愛情で心肺蘇生

9月8日、市内のショッピングセンターを会場に救急医療週間街頭広報が行われました。会場では、心肺蘇生法やAED体験、子ども用防火衣の試着等が行われ、多くの方が訪れてくれました。

AEDを体験した方は「万が一のために、定期的に教わりたい」とAEDの重要性を感じていました。

一関市消防本部では、応急手当の方法を身に付けて、大切な命を守るため救命講習を行っています。お問い合わせは最寄りの消防署・分署までお願いします！

一関市消防本部のホームページ

WEB
で検索

一関消防

検索

一関市消防本部HP
メール、アプリの登録もこちらから

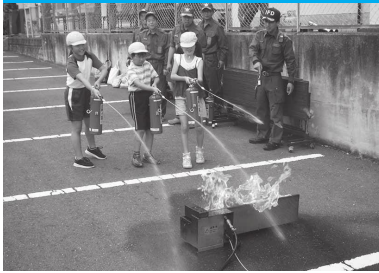


火災などの災害情報の問い合わせ

TEL 0180-991199

防災活動に参加しましょう！

防災訓練（一関）



6月23日(日)、中里市民センターなどを会場に行われました。消防訓練、避難経路の確認、防災授業など参加者の年齢に合わせたきめ細やかな訓練となりました。

救急救命講習（花泉）



9月9日(月)、花夢パルを会場に行われました。この講習は毎年救急の日に合わせて開催されており、今回は普通救命講習Ⅰを行い、参加者は心肺蘇生法や異物除去法、止血法について学びました。

消防・防災セミナー（大東）



8月3日(土)、一関北消防署を会場に行われました。

防災に関するDVD鑑賞や消防署見学、放水体験などを行いました。放水体験に参加した児童は「(放水する)ホースは重かった」と話していました。

救急医療週間街頭広報（千厩）



9月8日(日)、千厩ショッピングモールエスパを会場に行われました。救急車適正利用の街頭広報のほか、消防車・救急車の車両展示、千厩病院看護師による健康診断や相談を実施しました。

消防・防災フェスタ
in ひがしやま 2019（東山）



9月7日(土)、一関北消防署東山分署とJAいわて平泉支店特設会場にて行われました。岩手県防災指導車「そばっちゃん」による地震体験や初期消火体験、非常食試食など防火・防災への理解を深めるとともに、災害への備えの重要性を確認しました。

JA いわて平泉まつり（室根）



9月7日(土)、室根営農経済センターで行われたJAいわて平泉まつりの会場で消防・救急コーナーとして、心肺蘇生法の体験や消防車両の展示を行いました。

Eポート大会（川崎）



9月1日(日)、北上大橋付近の北上川で行われたEポート大会の会場で「救急コーナー」を設け、心配蘇生法の体験や救急車の展示などを行いました。

避難所運営研修会（藤沢）



7月28日(日)、藤沢市民センター黄海分館を会場に行われ、避難所運営について学びました。参加者は「災害が心配だったので、参加して良かった」と話していました。

花火指導（平泉）



7月12日(金)、平泉町立幼稚園・平泉保育所を会場に行われ、火の取り扱いについて学びました。

地域の
防災は

みんなの力で

各地域では、避難所運営訓練や消防・防災セミナーなどを開催しています。災害時に最も重要なのは地域防災です。積極的に参加して、災害に備えましょう。

お問い合わせは最寄りの消防署・分署までお願いします。

【各消防署・分署の連絡先】

一関西消防署	25-5914	一関西消防署平泉分署	46-0119
一関南消防署	82-0119	一関南消防署藤沢分署	63-0119
一関東消防署	51-0119	一関東消防署室根分署	64-0119
		一関東消防署川崎分署	43-0119
一関北消防署	71-0119	一関北消防署東山分署	47-0119

5段階の「警戒レベル」で 避難情報を発信します

平成30年7月豪雨で、逃げ遅れによる犠牲者が多く出た教訓から、平成31年3月29日、内閣府は「避難勧告等に関するガイドライン」を改定しました。そのガイドラインを踏まえ、市や町が発令する避難情報（避難勧告など）や気象庁が発表する注意報などを5段階の警戒レベルとともに発信しています。

日頃から防災マップなどで避難する場所を確認し、家庭や地域で避難方法を話し合うなど、いざというときに備えましょう。

また、市や町から警戒レベル4が発令された地域の住民は、速やかに避難してください。

普段から知っておいてください

・「警戒レベル5」 災害発生情報は、可能な範囲で市や町が発令するものであり、必ず発令されるものではないことに注意してください。

・指定緊急避難場所等への立ち退き非難は「警戒レベル4」 避難勧告を基本とします。必ずしも避難指示（緊急）が発令されるとは限りませんので、注意してください。

・気象情報や河川の水位情報は、インターネットやアプリ、メールといった情報ツールで確認することができます。いざというときに活用できるよう、普段から登録し確認しましょう。

『警戒レベルを用いた避難勧告等の発令』

詳しくはこちら↓

一関市HP



平泉町HP



防災マップは平成30年1月に平泉町で、平成30年4月に一関市でそれぞれ全戸配付していますが、市や町のホームページからも閲覧できます。

警戒レベル	市民が取るべき行動	避難情報など	発信
高	5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報
	4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所等までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急）
危険度	3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（高齢者、障がいのある人、妊婦、乳幼児など）は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始
	2	避難に備え、防災マップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など
低	1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報
			市 気象庁

3つのポイント

- 1 こまめに手洗いしましょう!
- 2 過度の飲酒や喫煙習慣を見直しましょう!
- 3 なにかあれば、すぐに医療機関を受診しましょう!

感染症対策



秋から冬にかけて、さまざまな感染症が流行します。RSウイルスやインフルエンザウイルス（発熱、咳など）、ノロやロタウイルス（腹痛、下痢、嘔吐など）などによる感染症です。いずれも、こまめに念入りに手洗いをするのが、予防に対して有効です。

doctor column
ドクターコラム

シリーズ第二十七回 秋から冬にかけて注意が必要な病気

県立磐井病院 救急科長 片山貴晶

秋から冬にかけて、さまざまな感染症が流行します。この中でも特にくも膜下出血は脳動脈瘤（脳の血管のふくらみ）の破裂が原因で、半数が即死または昏睡状態に陥り、元通りに社会復帰できるのは約25%と言われているほど恐ろしい病気です。喫煙習慣、高血圧、過度の飲酒が危険因子で、これらを持ち合わせる人は、その改善が望ましいと考えられます。最大の危険因子は高血圧で、常に140/90mmHg未満であることが重要です。食事の改善や降圧薬の内服でコントロール可能です。また未破裂の動脈瘤を早期に発見できれば、破れないような治療が可能なのもあり、可能なら脳ドックを実施している医療機関を受診しましょう。

救急車の適正利用にご協力ください！

急な病気やけがをしたとき、「すぐに救急車を要請した方がよいか」「自家用車などで病院へ行くべきか」、判断に迷うことはありませんか。

そのような場合は、判断を支援する救急受診アプリ「Q助」を活用しましょう。

救急受診アプリ(愛称「Q助」)について (スマホ版とWeb版あり)

症状の緊急度を素早く判定！救急車を呼ぶ目安に！！

※「Q助」の概要

該当する症状を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応が表示され、住民が行う緊急度の判断を支援します。

詳しくはこちら

総務省消防庁HP
『全国版救急受診アプリ(愛称)「Q助」』



救急車の台数には限りがあります！

症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「この病院に行けばよいかわからない」という理由で救急車を呼ぶ人がいます。いざというときのために！適正利用にご協力をお願いします！！

令和元年

秋季全国火災予防運動

◆実施期間

11月9日～11月15日の7日間

◆防火標語

『ひとつずつ いいね！で確認 火の用心』



住宅防火 いのちを守る7つのポイント

◆3つの習慣

- ① 寝たばこは、絶対やめる。
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

◆4つの習慣

- ① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ② 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

POINT

たき火で注意すべき5つのポイント

- 1 強風時や乾燥時にはたき火はしない！
- 2 水バケツなどの消火用具を必ず用意する！
- 3 山林や住宅の近くでたき火はしない！
- 4 たき火から目を離さず、完全に消火する！
- 5 作業中は衣服への着火に十分注意する！



発行日 ● 令和元年10月25日

編集 ● 一関市消防本部

〒021-0053 岩手県一関市山目字中野140-3

TEL (0191)25-0119(代表)

たき火に注意！

全国的に「たき火」を原因とする火災が発生しています。一関市でも過去5年間の火災原因の第1位は「たき火」です。

「たき火」が火災にまで拡大してしまう要因は、枯草を焼却していて風にあおられ拡大するものや、火が消えたと思いきいの場を離れたことが主なものです。

また、農作業では、高齢の方が「たき火」を行うことが多く、たき火が燃え広がり、慌てて消そうとして、やけどを負うなどの事例もあります。

「毎年やるから大丈夫！」

「これぐらいなら問題ないだろう！」

という、ちょっとした油断や慣れが火災の原因の背景にあります。

たき火による火災が減るよう皆さんで気をつけましょう。

※ここで言う「たき火」とは枯草焼きなど、屋外で火を使用することです。また、廃棄物の焼却(ゴミ焼き)は、一部の例外を除き、禁止されています。